

令和 5 年 6 月 20 日現在

機関番号：32606
 研究種目：基盤研究(B)（一般）
 研究期間：2019～2022
 課題番号：19H01304
 研究課題名（和文）日韓の歴史教科書及び博物館歴史展示における日本による植民地関係記述の比較研究

研究課題名（英文）Comparative study of Japanese descriptions of the colonial period in Japanese and Korean history textbooks and museum history exhibits

研究代表者
 梅野 正信（UMENO, MASANOBU）
 学習院大学・文学部・教授

研究者番号：50203584
 交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 8,200,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、日韓両国の中学・高校用歴史教科書における日本による植民地関係の記述について、植民地支配を特徴づける項目ごとに整理、比較、分析を加え、記述と根拠資料を検証する。同様に、両国の博物館展示、政府見解・声明等の公的対応、戦後補償裁判等について検討し、両国で広く共有可能な記述及び根拠資料を整理し公表することが目的である。

研究の成果として、日韓の共同調査研究により、2000年以降に発行された日本の中学校社会科歴史的分野、高校日本史A及びBの検定教科書、韓国の一社の歴史教科書記述を対象として、植民地期に関する主要な歴史的事項を比較・検討し、日本と韓国で共有可能な歴史的事実を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では、日本と韓国の歴史学、歴史教育、歴史教育実践に関わる研究者により、それぞれの国内で承認された歴史教科書記載の記述を、両国における議論となすべき素材として位置づけ、その「到達点」と「共有可能な歴史的事実」について整理することができた。

具体的には、「植民地朝鮮」を検討範囲とし、「植民地化の過程」「韓国併合」「武断統治及び三・一独立運動」「植民地収奪」「同化・皇民化及び関東大震災」「慰安婦」「戦後補償」について、両国の歴史学・歴史教育関係者の活用に資するための、植民地期関係の両国で共有可能な記述、根拠資料、解説、データベースを作成し、公開することができた。

研究成果の概要（英文）：This study examines the descriptions of Japan's colonial period in Japanese and Korean history textbooks by comparing, and analyzing each of the items that characterize colonial rule, and examining the descriptions and materials that can be shared in both countries. This study will examine museum exhibitions, public responses such as government opinions and statements, and postwar compensation trials in both countries, and organize and publish descriptions and evidence that can be shared in both countries.

As the outcome of the research, through joint research between Japan and Korea, we compared and examined major historical matters related to the colonial period in Japanese history textbooks, Japanese high school history A and B textbooks, and one Korean history textbook published after 2000, and clarified historical facts that can be shared between Japan and Korea. The results were used to identify historical facts that can be shared between Japan and South Korea.

研究分野：History Education

キーワード：歴史教科書 博物館展示 戦後補償裁判 植民地期 日韓共同研究

1. 研究開始当初の背景

日韓関係は、教科書問題が政治問題化しながらも、同時に両国間の研究交流を促し、その一部は教科書記述に反映されてきた。しかし、両国が広く共有可能な教科書記述の到達点が那邊にあり、日本と韓国が公的な承認を与えた記述が政治的議論に左右されない形で広く共有され、官民にわたる議論の基盤たり得ているのかは、いまだ即答を躊躇する状況にある。本研究は、「韓国と日本が近隣国家として平和と共栄の未来を切り開いていくためには『15年戦争』と『植民地朝鮮』に対する分裂した歴史認識を克服しなければならない」(鄭在貞「韓国と日本の歴史教科書に描かれた近代の肖像-「十五年戦争」と「植民地朝鮮」-」2010年)とする鄭在貞の指摘をふまえ、「『不法』であろうと、なかろうと、人間が他国の人間の意思を支配し、民族が他民族を従属させたという意味において『不当な』植民地支配(正当な植民地支配はない)」(海野福寿『外交史料韓国併合』2003年)に関する、両国で共有可能な資料・史料を調査、検討、整理を試み、研究と教育の立場から、両国間の歴史的課題の解決・改善に資することを主旨とする日韓の共同研究である。

2. 研究の目的

日本の朝鮮半島に対する植民地支配に関する歴史的事実について、日本と韓国の自国史教科書、とりわけ日本の中学校社会科歴史的分野、高校日本史A及びBの検定教科書、韓国における一社の歴史教科書記述に焦点をあて、政治的議論とは別に、日本と韓国ですでに共有可能な歴史的事実を抽出、整理し、これらを両国における議論の基盤となすべき到達点と位置付けたいうえで、関連する資料・史料を提案することを目的としている。教科書記述の到達点をふまえ、日本と韓国の政治と社会、教育と研究が、対立の渦中にあっても当然に確認することのできる、過酷な植民地支配に関する「共有可能」な事実と資料を整理・提案する。

3. 研究の方法

研究代表者及び分担者である梅野正信、新福悦郎、福田喜彦、真島聖子、蜂須賀洋一、研究協力者である白井克尚及び徐鐘珍を中心に、2000年以降に改訂された日本の検定歴史中学校社会科(歴史的分野)及び高校日本史(AB)の教科書、韓国の教科書(未来エン)を検討し、抽出した植民地支配の事例を表す用語、キーワードをもとに検討を重ね、関連する諸研究の成果をふまえ、日韓両国で共有可能な資料・史料を調査・選択し、解説を加えている。

4. 研究成果

本科研では、2000年以降に改訂された歴史教科書(中学校社会科歴史的分野・高校日本史AB)を分析した上で、歴史的資料・史料を調査し、以下の史料・資料を、日韓両国で共有可能な資料として提案している。(以下は資料名のみ。詳しくは冊子体の科研報告書としてとりまとめている)

(1)「植民地化の過程」に関する共有可能な資料(一部抜粋)

【1】第二次日韓協約・伊藤特派大使復命書[一九〇五年十二月八日附](第四號)「日韓新協約調印始末」	『日本外交文書』三八卷一冊 二四九文書(附記一「十二月八日伊藤特派大使復命書 韓国特派大使伊藤博文復命書(三十八年十一月二日御沙汰ヲ拜ス)(第四號)「日韓新協約調印始末」。『日本外交文書』三八卷一冊,503~507頁。
---	---

【2】1905年11月17日前後の朝鮮駐箚軍	『韓国史料叢書第五 大韓季年史 下』国史編纂委員会。
【3】1905年の駐箚軍	朝鮮駐箚軍司令部編『朝鮮駐箚軍歴史』(1914年)朝鮮駐箚軍司令部編『朝鮮駐箚軍歴史』『日韓外交資料集成別冊一』金正明編,巖南堂書店,1967年。
【4】「韓国特派大使伊藤博文復命書奉使記事摘要」	『日本外交文書』三八巻一冊 二四九文書(附記一「十二月八日伊藤特派大使復命書 韓国特派大使伊藤博文復命書(三十八年十一月二日御沙汰ヲ拜ス)」。出典は外務省編纂『日本外交文書』三八巻一冊,497頁。

(2)「韓国併合」に関する共有可能な資料(一部抜粋)

【1】警備部隊人馬一覽表明治四十四年七月上旬調	韓国併合史研究資料④『日韓併合始末(正・続篇)』2005年,龍溪書舎。
【2】龍山衛戍地警臨時備規定 1910年8月	同『日韓併合始末(正・続篇)』2005年,龍溪書舎。

(3)「武断統治及び三・一独立運動」に関する共有可能な資料(一部抜粋)

【1】大正八年三月一日高第五四一〇号独立運動二関スル件(第二報)	姜徳相編『現代史資料25』1966年,みすず書房,281-286頁。
【2】朝鮮における騒擾 一九一九年三月二十一日	姜徳相編『現代史資料26』1966年,みすず書房,347-348頁。
【3】騒密七七〇号堤岩里騒擾事件二関スル報告(通牒)大正八年四月二十四日	同『現代史資料26』,313-316頁。
【4】村の焼討と大虐殺に関する最初の報告 四月十六日付	姜徳相編『現代史資料26』1966年,みすず書房,387-388頁。

(4)「植民地収奪」に関する共有可能な資料(一部抜粋)

【1】日本人地主の土地所有	小早川九郎編『朝鮮農業発達史(発達編)』朝鮮農会,1944年,591~592頁より作成。
【2】東洋拓殖会社の沿革	東洋拓殖株式会社『東拓十年史』東洋拓殖,1918年,1-9頁。
【3】東洋拓殖会社の社有地面積	1909-1917年度は,東洋拓殖株式会社『東拓十年史』東洋拓殖,1918年,38-40頁,1918~1927年度は,東洋拓殖会社『東洋拓殖会社二十年誌』東洋拓殖,1928年,37-38頁より作成。
【4】朝鮮の米穀生産と移出量	日本学術振興会『朝鮮米穀経済論』岩波書店,1935年,131-132頁より作成

(5)同化・皇民化及び関東大震災

【1】「皇国臣民の誓詞」	「朝鮮総督府『朝鮮ノ國民總力運動』1943年3月。国立公文書館アジア歴史資料センター。
【2】朝鮮総督南次郎諭告	朝鮮総督南次郎諭告 朝鮮総督府『施政三十年史』1940年10月,780頁。
【3】流言藍語ノ取締	警視廳『大正大震災火災誌』第五章治安保持「第一節 流言藍語ノ取締」1925年。

(6)「慰安婦」

【1】在上海総領事館警察発長崎県水上警察署宛「皇軍将兵慰安婦女渡来ニツキ便宜供与方依頼ノ件」(1937年12月21日付)	女性のためのアジア平和国民基金編『政府調査「従軍慰安婦」関係資料集成』第1巻,龍溪書舎,1997,pp.36-44。
【2】「醜業婦渡支二関スル経緯」(内務省)	女性のためのアジア平和国民基金編『政府調査「従軍慰安婦」関係資料集成』第1巻,龍溪書舎,pp.105-109。

【3】上海派遣軍慰安所酌婦契約条件(群馬県知事発内務大臣・陸軍大臣宛「上海派遣軍内陸軍慰安所二於ケル酌婦募集二関スル件」(1938年1月19日付))	女性のためのアジア平和国民基金編『政府調査「従軍慰安婦」関係資料集成』第1巻,龍溪書舎,1997,pp.19-20。
【4】高知県知事発内務大臣宛「支那渡航婦女募集取締二関スル件」(1938年1月25日付)	同『政府調査「従軍慰安婦」関係資料集成』第1巻,龍溪書舎,1997,p.26。
【5】陸軍省副官発北支那方面軍及中支派遣軍参謀長宛通牒、陸支密第745号「軍慰安所従業婦等募集二関スル件」(1938年3月4日付)	吉見義明編集・解説『従軍慰安婦資料集』大月書店,1992年,pp.105-106。

(7) 戦後補償 共有が期待される史・資料の選定

【1】「日本における戦後補償訴訟一覧(朝鮮半島関係 被爆者訴訟を除く)」
【2】「韓国における強制動員関係訴訟」

(8) 総括

2019年4月に開始した本科研は、日韓関係の政治的・社会的悪化をうけて、合同研究会の開催が困難な状況が続いたが、同年9月27日には韓国で研究打ち合わせを実施し、11月30日(土)には、上越教育大学・東京サテライト(東京・田町)で第1回の日韓合同研究会を開催することができた。しかしながら、2020年度に入り、COVID-19の感染拡大により、両国間の往来、国内の移動さえ困難な状況が続いたため、遠隔システムを利用した検討会が中心となったこと、日韓合同研究会及び日韓合同調査を実現できなかったことは、残念でならない。

そのような中で2020年には全国社会科教育学会第69回大会で共同報告(「日韓の歴史教科書における植民地期関係事項の比較研究」)ができたこと、さらには本研究報告をとりまとめる事ができたことは、幸いであった。困難な状況下で、Zoomを通しての検討の場に、常に参加して下さった徐鐘珍先生には、言葉には言い表せないほどの助力を得た。徐先生の献身的な貢献がなければ、学会報告、本研究報告ともに、韓国側の視点を加えることができなかった。鄭在貞先生への御礼とともに、重ねて謝意を表したい。

なお、主な研究活動を以下の通り示す。

- ・ 第1回研究会(日韓合同研究会), 研究の方向性や研究分担の確認、研究予定の検討等、2019年、11月30日(土)13:00-17:00、上越教育大学東京サテライト東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター(梅野正信、池野範男、久留島浩、新福悦郎、大浜郁子、福田喜彦、真島聖子、蜂須賀洋一、Juljan BIONTINO、鄭在貞、具蘭熹、徐鐘珍、辛珠柏、李美愛)
- ・ 第1回教科書分析グループ作業部会、日韓の教科書記述に関する基礎データの作成の打合せ、2020年、6月27日(土)17:00-19:00、オンライン(梅野、福田、新福、白井克尚、真島、蜂須賀)
- ・ 第2回教科書分析グループ作業部会、日韓の教科書記述に関する基礎データの作成の進捗状況確認等、7月11日(土)17:40~19:00、オンライン(梅野、福田、新福、白井、真島聖子、蜂須賀洋一)
- ・ 第2回研究会、1980年代以降の教科書比較に関する研究の整理、比較の視点(最も詳細な記述の範囲、多くの教科書で確認できる記述の範囲等)2020年7月26日(土)19:00-21:00、オンライン(梅野、池野、久留島、徐、福田、新福、白井、真島、蜂須賀)
- ・ 第3回教科書分析グループ作業部会、キーワード設定、2020年8月20日(木)15:00-16:00、

オンライン（梅野、福田、新福、白井、真島、蜂須賀）

- ・ 第4回教科書分析グループ作業部会、韓国教科書と照合しリストする作業、2020年8月30日（日）15:00～17:00、オンライン（梅野、徐、福田、新福、白井、真島、蜂須賀）
- ・ 第3回研究会、教科書チェック表をもとにしたキーワードの適否の検討、2020年9月7日（月）17:00～19:00、オンライン（梅野、久留島、徐、大浜、福田、新福、白井、蜂須賀）
- ・ 第5回教科書分析グループ作業部会、全国社会科教育学会発表へ向けて教科書チェック表をもとにした作業の確認、2020年9月13日（日）16:00-18:00、オンライン（梅野、徐、福田、新福、白井、真島、蜂須賀）
- ・ 学会発表：第69回全国社会科教育学会自由研究発表、「日韓の歴史教科書における植民地期関係記述の比較研究」、2020年10月24日（土）-12月25日（金） オンライン開催、紙面発表（梅野、池野、久留島、徐、福田、新福、大浜、真島、蜂須賀、白井）
- ・ 第6回教科書分析グループ作業部会、日韓の歴史教科書における植民地期関係記述に関する論文検討会、2021年10月16日（月）16:00～18:00、学習院大学、対面（梅野、福田、新福、蜂須賀）
- ・ 第4回研究会（ミニ研究会）、日韓の歴史教科書における植民地期関係記述に関する論文検討会、今後の科研の進め方、2021年12月12日（日）12:00-14:00、学習院大学、対面及びオンライン（梅野、池野、久留島、徐、福田、新福、真島、蜂須賀、白井）
- ・ 第7回教科書分析グループ作業部会、日韓の歴史教科書における植民地期関係記述に関する論文検討会、2022年3月24日（木）19:00-20:00、オンライン（梅野、福田、新福、白井克尚、真島）
- ・ 第5回研究会、論文検討会及び国立歴史民俗博物館展示調査、2022年5月28日（土）13:00-17:00、5月29日（日）9:00～14:00、国立歴史民俗博物館、オンライン（梅野、久留島、徐、大浜、福田、新福、白井、蜂須賀、真島）
- ・ 第8回教科書分析グループ作業部会、日韓の歴史教科書における植民地期関係記述に関する論文検討会、2022年、7月10日（日）10:00-15:00 学習院大学、対面及びオンライン、（梅野、福田、新福、白井、真島、蜂須賀）
- ・ 県立名護屋城博物館展示調査（自主調査）、2022年12月10日（土）13:00-17:00 県立名護屋城博物館（梅野、久留島、大浜、新福、真島、蜂須賀）
- ・ 学会発表：社会系教科教育学会 第34回研究発表大会 自由研究発表「植民地朝鮮における「言論統制」への解釈を行う歴史授業モデルの開発 - 日韓歴史共通教材としての「日章旗抹消事件」の活用を通じて - 」、2023年2月18日（土）-3月16日（金） オンライン掲載型（白井）

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計14件（うち査読付論文 5件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 8件）

1. 著者名 福田喜彦	4. 巻 61
2. 論文標題 日韓比較歴史教育理論史の視点から考える「解放」と「民主化」の位相 1990年代の『歴史教育』の分析を通して	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 兵庫教育大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 81-94
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新福悦郎	4. 巻 34
2. 論文標題 韓国併合の強制性に関する日本の検定歴史教科書記述の分析と特色 学校教育での日本語強制に焦点化してー	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 石巻専修大学 研究紀要	6. 最初と最後の頁 53-66
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大浜郁子	4. 巻 1
2. 論文標題 「牡丹社事件」の新考察と新たな歴史的意義	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 「南國與萬國的交會」國際學術研討會論文集	6. 最初と最後の頁 55-82
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 福田喜彦	4. 巻 57
2. 論文標題 戦後社会科成立期における日韓の歴史教育理論の比較教科教育史的研究 歴史教育研究会の創設と『歴史教育』の創刊に着目して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 兵庫教育大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 129-142
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 今西一、大浜郁子、石川亮太編	4. 巻 23
2. 論文標題 記憶の歴史学 沖縄の民衆と差別 - 西里喜行氏に聞く(2)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アリーナ	6. 最初と最後の頁 43-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 池野範男	4. 巻 4
2. 論文標題 人はどのようにして民主主義的行為に至るのか - 小学校社会科公民授業事例にもとづいて-	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本体育大学大学院教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 345-359
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 梅野正信	4. 巻 7
2. 論文標題 『学習院輔仁會雑誌』に記された「流行性感冒」(1918~1921)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 学習院大学教育学・教育実践論叢	6. 最初と最後の頁 15-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 梅野正信	4. 巻 67
2. 論文標題 「法治教育」(中国2015)における「侵害された人権の救済」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 学習院大学文学部研究年報	6. 最初と最後の頁 171-192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久留島浩	4. 巻 1
2. 論文標題 The Background to Japan's Modernization : What Made the Meiji Restoration Possible?	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Revisiting Japan 's Restoration: New Approaches to the Study of the Meiji Transformation (Routledge Studies in the Modern History of Asia),Routledge ,	6. 最初と最後の頁 257-264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池野範男	4. 巻 第2巻第1号
2. 論文標題 池野範男 2. 発表標題 社会科教育特論－社会科の成立基盤とその特質 3. 学会等名 日本体育大学大学院 教育学研究科紀要	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 本体育大学大学院教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 23-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 池野範男	4. 巻 Vol.7
2. 論文標題 Governance Issue on Citizenship/Social Studies Education: Democratic Education and its Paradox Problem	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Journal of Social Studies Education in Asia	6. 最初と最後の頁 19-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 池野範男	4. 巻 第3巻第2号
2. 論文標題 教科教育研究における質的研究 - GTAによる社会科授業研究 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本体育大学大学院教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 23-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 池野範男	4. 巻 第4巻第1号
2. 論文標題 社会科実践研究：小学校6年政治単元を事例に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本体育大学大学院教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 31 - 40
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 大浜郁子	4. 巻 1
2. 論文標題 近代日本による沖縄と台湾への「旧慣」調査の比較研究 - 田代安定の調査を中心に -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Polish Association for Japanese Studies (PAJS), "Japanese Civilization: Tokens and Manifestations"	6. 最初と最後の頁 117-131
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計12件（うち招待講演 6件 / うち国際学会 5件）

1. 発表者名 福田喜彦
2. 発表標題 市民性育成の視点に基づく日韓歴史教育理論の歴史的展開—2000年代の『歴史教育』の分析を中心にして—
3. 学会等名 日本社会科教育学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 白井克尚
2. 発表標題 植民地朝鮮における「言論統制」への解釈を行う歴史授業モデルの開発 日韓共通教材としての「日章旗抹消事件」の活用を通じて—
3. 学会等名 社会系教科教育学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 池野範男
2. 発表標題 民主主義の原理とその教育の視点から見たグローバル・シティズンシップ教育
3. 学会等名 日本シティズンシップ教育学会（第2回研究大会シンポジウム）（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大浜郁子
2. 発表標題 田代安定に関する史料学的研究 - 沖縄・八重山と台湾・「原住民」関係史料を軸に
3. 学会等名 第11回臺灣總督府档案學術研討會（主催：國史館臺灣文献館、共催：中央研究院臺灣史研究所・原住民委員會・國立臺灣圖書館・國立臺灣博物館）（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 福田喜彦
2. 発表標題 比較社会系教科教育史の視点に基づく日韓歴史教育の理論的研究 - 1970年代から1980年代までの『歴史教育』の分析を中心に -
3. 学会等名 日本社会科教育学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 梅野正信・新福悦郎・福田喜彦・真島聖子・白井克尚・蜂須賀洋一・池野範男・久留島浩・大浜郁子・徐鐘珍
2. 発表標題 日韓の歴史教科書における植民地関係事項の比較研究
3. 学会等名 全国社会科教育学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大浜郁子
2. 発表標題 田代安定に関する史料学的研究 - 沖縄・八重山と台湾・「原住民」関係史料を軸に
3. 学会等名 「第11回臺灣總督府档案學術研討會」(招待有、審査有)(国際シンポジウム)(主催: 國史館臺灣文献館、共催: 中央研究院臺灣史研究所・原住民委員會・國立臺灣圖書館・國立臺灣博物館)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 池野範男
2. 発表標題 民主主義の原理とその教育の視点から見たグローバル・シティズンシップ教育
3. 学会等名 日本シティズンシップ教育学会(第2回研究大会シンポジウム)(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大浜郁子
2. 発表標題 1874年與「牡丹社戦役」
3. 学会等名 第一回國際論壇「恆春半島の戦争與和平」東南科技大學(台湾・新北市)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大浜郁子
2. 発表標題 「牡丹社事件」の新考察と新たな歴史的意義
3. 学会等名 「南國與萬國の交會: 全球史視野下の羅妹號、牡丹社事件與十九世紀鄒[山喬]地方社會」國際學術研討會 屏東縣政府(台湾・屏東市)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大浜郁子
2. 発表標題 「牡丹社事件」研究の基盤整備に向けて
3. 学会等名 南國與萬國の交會：全球史視野下の羅妹號、牡丹社事件與十九世紀瑯[山喬]地方社會」國際學術研討會（招待講演）屏東縣政府（台灣・屏東市）（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田喜彦
2. 発表標題 戦後社会科成立期における日韓の歴史教育理論の比較教科教育史的研究 歴史教育研究会の創設と『歴史教育』の創刊に着目して
3. 学会等名 日本社会科教育学会第69回全国研究大会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計9件

1. 著者名 梁豪煥、福田 喜彦、井上 奈穂、ほか1名	4. 発行年 2023年
2. 出版社 風間書房	5. 総ページ数 458
3. 書名 現代韓国における歴史教育の立論と構想	

1. 著者名 日本植民地研究会・翰林大学校日本学研究所編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 小花	5. 総ページ数 470
3. 書名 『日本植民地研究の論点』ハンゲル版	

1. 著者名 梅野正信、徐鐘珍	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東北亜歴史財団	5. 総ページ数 339
3. 書名 近代の知識人と韓日歴史和解 (ハングル版)	

1. 著者名 梅野正信、新福悦郎、蜂須賀洋一	4. 発行年 2021年
2. 出版社 三恵社	5. 総ページ数 162
3. 書名 公民科教育と学校教育	

1. 著者名 天野洋平、飯島春光、池本恭代、石上徳千代、井村花子、岩田彦太郎、新福悦郎、他21名	4. 発行年 2022年
2. 出版社 大月書店	5. 総ページ数 239
3. 書名 "明日の授業に使える中学校社会科歴史 "	

1. 著者名 社会系教育実践学研究会	4. 発行年 2021年
2. 出版社 帝国書院	5. 総ページ数 225
3. 書名 社会系教育実践学論集	

1. 著者名 木村博一・福田喜彦編	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明治図書	5. 総ページ数 272
3. 書名 板書&写真でよくわかる365日の全授業小学校社会6年	

1. 著者名 梅野正信、徐鐘珍	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東北亜歴史財団	5. 総ページ数 339
3. 書名 近代の知識人と韓日歴史和解	

1. 著者名 梅野正信、福田喜彦	4. 発行年 2020年
2. 出版社 風間書房	5. 総ページ数 403
3. 書名 東アジアにおける法規範教育の構築	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	久留島 浩 (KURUSHIMA HIROSHI) (30161772)	国立歴史民俗博物館・大学共同利用機関等の部局等・特任教授 (62501)	
研究分担者	池野 範男 (IKENO NORIO) (10151309)	日本体育大学・児童スポーツ教育学部・教授 (32672)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	福田 喜彦 (FUKUDA YOSHIHIKO) (30510888)	兵庫教育大学・学校教育研究科・准教授 (14503)	
研究分担者	真島 聖子 (MAJIMA KIYOKO) (10552896)	愛知教育大学・教育学部・准教授 (13902)	
研究分担者	大浜 郁子 (OOHAMA IKUKO) (60459964)	琉球大学・人文社会学部・准教授 (18001)	
研究分担者	新福 悦郎 (SHINPUKU ETSUROU) (20734122)	石巻専修大学・人間学部・教授 (31308)	
研究分担者	蜂須賀 洋一 (HACHISUGA YOUICHI) (20824238)	上越教育大学・大学院学校教育研究科・准教授 (13103)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関